

明石市環境レポート 2011-平成 22 年度年次報告書(素案)  
パブリックコメントで出された意見

平成 23 年 11 月 30 日締め切り 意見応募者 4 名 20 件

	ご意見	市の対応
<b>全体に関すること</b>		
P. 6 ほか	P. 5「環境マイスター制度」「グリーン購入」のやや専門的な語句や P9「うおずみん」P. 16「明石市民提案型パイロット協働事業」の近年の活動には解説が必要と思います。	可能な限り、紙面に説明を加えた記載といたします。
<b>3 リーディングプロジェクトの取り組み状況 (リーディングプロジェクト実施状況の記載について)</b>		
P. 6	LP3 は 2010 年度報告書で LP1 と 2 に統合の記載があるので LP3 の記載は必要ないと思います。テーマを残したいのであれば、LP1 と 2 の各々に掲げてはどうか。	環境レポートの記載は、初めてこの報告書を読む方が活動状況を理解いただけるような内容を心がけています。そのため、前年度に記載のあった内容を再度掲載することがあります。リーディングプロジェクト(LP)の取り組みについても同様で、今回初めて目にした方が、LPの活動の推移がわかるよう、前年度と同様の記載としています。
P. 8	LP5 の終了と LP7 が LP4 と統合することは 2010 年度報告書に記載がありますが、この報告書に記載する理由はあるのでしょうか。	
P. 10	LP10, 11, 12 の活動停止は 2010 年度報告書に報告があります。今回の報告書に記載するのであれば、活動再開に必要な要件を掲載してはどうか。	
P. 9	LP6 の活動への今後の後押しとして太陽光発電設備助成制度(p. 26 に記載)があっべきと思います。エコウイングと行政との協働や連携での活動状況の報告がほしいものです。	太陽光発電設備助成制度におけるエコウイングあかしの協働として、セミナー開催などの啓発活動があげられます。その内容について LP6 の項に記載します。
<b>5 地球温暖化対策の取り組み</b>		
P. 14, 15	明石市内と明石市役所の温室効果ガス排出量の表があるが、基準年度が異なるので比較がしにくいので、例えば、基準年度を平成 19 (2007) 年に統一することはできませんか。	明石市内の温室効果ガス排出量の基準年度平成 2 (1990) 年は国の温室効果ガス削減のための計画の基準年度に合わせて設定しました。また、明石市役所内の温室効果ガス削減については平成 19 (2007) 年度に改定した明石市地球温暖化対策実行計画の基準年度を採用しています。根拠となる計画が異なるため、基準年度が異なっておりますが、ご理解ください。

	ご意見	市の対応
5 地球温暖化対策の取り組み		
P. 15	<p>廃プラスチックを温室効果ガス排出量の原因として言及する以上、もう少し大きく取り上げるべきではないでしょうか。</p>	<p>紙面が限られており、小さな記述になっております。今後、一般廃棄物の削減とも関係させて、市民の皆様に周知する機会を増やしていきたいと考えています。</p>
	<p>容器包装プラスチックを資源として分別回収し、市民に対する啓発を進めていただきたい。</p>	<p>家庭のごみの多くを占めるプラスチック製容器包装の処理のため、他市と共同で行う処理計画を立てましたが、他市の離脱により本市の単独実施で大きな費用が生じることとなりました。</p> <p>単独でも実施できる方策を模索しながらモデル事業を継続してきましたが、回収されたプラスチック製容器包装のリサイクル方法が、本来のマテリアルリサイクルからケミカルリサイクルとして、製鉄所で還元剤や燃料として利用される割合が増えてきたため、全市実施に必要な費用、本市の時勢状況、電力不足等の条件を検討した結果、プラスチック製容器包装の全市展開については、先送りし将来の焼却施設の建替え時期に再検討することとしました。</p>
7 明石市環境マネジメントシステム		
P. 18	<p>自治体間相互環境監査システム会議はシステムの透明性と信頼性をより高めるために実施しているとのことですが、実施後4年経過して得られた成果を報告してください。</p>	<p>4年の間に参加自治体が増えたことと、本市が関連団体主催のシンポジウムへ出席した旨を記載します。合わせて、システムの透明性と信頼性について今後会議での議論を進めます。</p>
P. 19	<p>「公共事業への環境配慮平成21年度の実施結果」とあり、説明には平成22年度とありますが、読み違いでしょうか。</p>	<p>記載間違いです。平成22年度に修正して統一します。</p>
P. 20	<p>エコオフィス活動の結果も部局ごとの一覧表にすべきだと思います。</p>	<p>エコオフィス活動は課単位で取り組んでいます。一覧表とするとかなりの紙面を割くこととなるため、市役所全体の結果のみ掲載しています。</p>

	ご意見	市の対応
P. 22	内部環境監査員研修の写真が掲載されているが、「内部環境監査員は、研修会などで監査力の研鑽に励んでいる」旨を追加してはどうですか。	ご指摘の内容を追加します。
	「支持」→「指示」の誤字ではないですか。	ご指摘の通り訂正します。
7 明石市環境マネジメントシステム		
P. 22	内部環境監査の簡素化とあるが、簡略化とならないよう留意し、合理的に実施してください。	内部環境監査実施時の内部環境監査員と被監査部局への負担を軽減するため「簡素化」という表現をしました。「合理的な改善」を進めるよう心がけます。
8 平成 22 年度の事業評価表		
P. 23	明石市の住宅地の上空が神戸空港への飛行路になっており騒音と低周波音が発生しています。騒音に関する環境監視事業の達成度「◎」は実体を適正に評価しているとは言えないです。	神戸空港に関する飛行機の苦情は、神戸空港に関する騒音などの監視を管轄する神戸市（みなと総局空港事業室）へ連絡を取り、適切な対応を取るよう申し入れをしています。
P. 24	公害防止対策について、事業者が提出する書類のチェックだけでなく、現場の実態調査をし、指導をしていただきたい。	大気・騒音・振動などに関して、年間 200 件以上現場への立ち入り調査を実施し、適切な指導を行っています。
P. 29	平成 22 年の夏に中尾親水公園と新池でオニバスの発芽を約 20 葉確認しました。平成 23 年は 1 葉のみでした。この項目の緑化公園課の取り組みは「◎」ではないでしょうか。	各課の環境貢献の評価は各課の自己評価になっています。実態と照らし合わせた評価となるよう、地球環境課から呼びかけていくようにいたします。
P. 31	環境貢献(取り組み編)は昨年度までは部局ごとの記述で同一内容が繰り返して記述されておりウンザリしたが、今年度のまとめかたはスッキリした。 達成度をもっと細かく整理し、実施する部局が競争しあうくらいに活発なものになるよう工夫してはどうですか。	環境レポートの編集内容の変更に高い評価をいただき、ありがとうございます。 内部環境監査では、各部局の取り組みについて「賞賛事項」を取り上げて、市役所内への周知を進めています。これからも市役所内各部署が切磋琢磨してくような方法を検討します。
その他		
	歩行喫煙と人通りが多いところでの喫煙への厳しい対応をお願いしたい。 明石市独自でたばこに地方税を課すことはできませんか。	本レポートに記載の内容ではないため、歩行喫煙の担当係へ連絡をし、適切な対応を依頼しました。